

3. 運転盤の説明

運転盤面の配線を次頁に示し、順次説明致します。

(A) テンキースイッチ

パレット番号を登録するときに押します。

パレット番号が“3”の時は3、“12”の時は1と2を押します。

“訂正”スイッチは押し間違った時に使用します。(押すと00に戻ります。)

“X”印スイッチはメンテナンス時に使用します。

(B) スタートボタン

テンキースイッチによりパレット番号を登録した後、パレットを呼び出す時に押します。

(C) フェンス開閉ボタン

フェンス“閉”ボタンにより、フェンスを閉めて下さい。

フェンス“開”ボタンにより、フェンスを開けて下さい。

(D) 非常停止ボタン

危険あるいは異常を感じた時に押します。

パレット運転は瞬時に停止します。

(E) キースイッチ(電源)

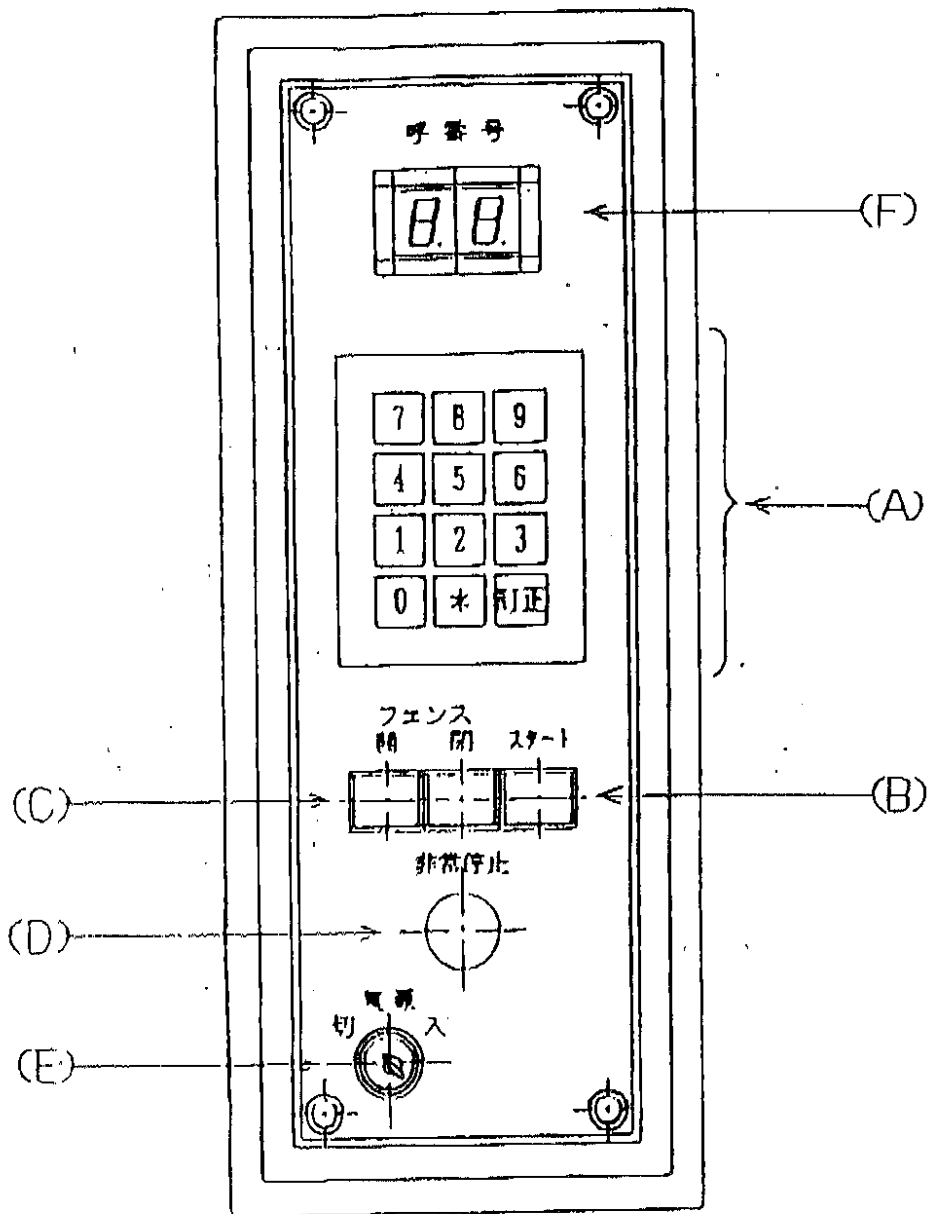
このスイッチを“入”にすると運転可能となります。

運転後は必ず“切”にしてからキーを抜き取って下さい。

運転中は“切”の操作をしないで下さい。

(F) 呼番号

テンキースイッチを押すと数字が表示されます。



4. 操作説明

まず制御盤内の主電源、操作電源のヒューズフリーブレーカーを入れて下さい。
(通常は夜間等でも入れたままにしておきます)

運転盤のキースイッチを“入”にしますと運転可能となります。

設備入口の前面柵が下げているか確認して下さい。上がってれば設備は作動しません。

(1) 入庫の時

空パレット呼寄せ

テンキースイッチにより呼パレット番号を押し、スタートボタンを押すと、上段パレット又は下段パレットが昇降し、中段パレットが横行した後、呼んだパレットが所定の位置に着床します。運転停止を確認の上、フェンス開ボタンを押し前面柵を上を開いて下さい。

このように設備の動きが間歇的な動作をしますので、確実に運転完了(呼んだパレットが所定の位置に着床したか)を確認して下さい。

乗り入れ

前面柵が上を開いた状態で、静かに乗り入れて下さい。 閉

所定のパレットに入庫した後はすみやかに退出し、フェンス開ボタンを押し、前面柵を閉めて下さい。

(注) 乗り入れは、必ず後進で車止メまで乗り入れて下さい。

(2) 出庫の時

パレット呼寄せ

テンキースイッチにより呼パレット番号を押し、スタートボタンを押して下さい。

入庫の時と同様にしてパレットが着床後、フェンス開ボタンを押し、前面柵を上を開いた後出庫して下さい。

中段にあるパレットに入出庫する場合は、そのままフェンス開ボタンを押し、前面柵を上を開いて入出庫して下さい。

入出庫後は、必ずフェンス閉ボタンを押し、前面柵を閉めて下さい。

(3) 非常停止

非常停止ボタンを押すと、パレットは瞬時に停止します。

停止後再び運転にはいる時は、テンキースイッチを押しスタートボタンを押して下さい。

その番号のパレットが下降(又は上昇、横行)し基準位置で停止します。

[注 意]

前面柵を開放したままで放置しますと、一定時間後ブザーが鳴り、警報を出します。警報を止める場合は、前面柵を「閉」にして下さい。

三、 操作上の注意事項

以上説明いたしましたとおり、操作は非常に簡単ですが、さらに注意していただきたい事項を要約いたします。

- 1) 操作順序を間違えないで下さい。
- 2) 車両寸法、又は重量の制限を超えないようにして下さい。
- 3) 駐車設備内に自動車を乗り入れる場合は、運転者以外の乗客および荷物は設備前で降ろして下さい。また自動車を出庫させる場合は運転者のみが設備内に入り、その他の乗客および荷物は設備外で乗車させて下さい。
入庫する前にアンテナを下げて下さい。
車の屋根には荷物を積まないで下さい。
- 4) パレット上での急停止、急発進はしないで下さい。(時速5 Km以下として下さい。)
- 5) 入庫は必ずパレット番号が車の中心にあるよう、後進で乗り入れ、停止位置を確認して、次の操作に移って下さい。車止めの位置まで確実に入庫して下さい。
- 6) 入庫した自動車のハンドブレーキをしっかりと掛け、エンジンキーを必ず抜いて下さい。
- 7) 入庫した自動車のドアは確実に閉めて下さい。万一運転中にドアが開きますと、自動車や駐車設備を損傷することがあり危険です。
- 8) 操作を行う場合は、駐車設備内に人はいないか、又障害物はないか、自動車の停止位置は正しいか、確認して下さい。
設備内には荷物を置かないようにして下さい。
- 9) 運転中は設備の中には絶対に入らないで下さい。
- 10) 運転中は人が前面柵に近づかない様、注意して下さい。
(特に子供、幼児には注意して下さい。)
- 11) 駐車設備を運転中は、いつでも急停止が出来るよう、運転盤から離れないで下さい。
- 12) 非常停止ボタンはみだりに使用しないで下さい。万一非常停止をした場合、原因をよく確かめた上で次の操作に移って下さい。
少しでも不審な点があれば弊社係員に御連絡下さい。
- 13) 入庫後の退出、又は出庫時、必ず駐車設備内に人はいないか、又障害物はないか、自動車の停止位置は正しいかを確認してから、設備前面の可動柵を閉じて下さい。
- 14) 駐車設備の運転操作完了後は、必ず電源キースイッチを「切」にしてキーを抜き取って下さい。
- 15) 非常停止した時はブザーが鳴ります。
ブザーは次の状態の時に鳴ります。
 - (1) 非常停止ボタンを押した時
 - (2) 光電スイッチのビームを遮光した時(遮光している間のみ鳴る)

(3) ファイナルスイッチが働いた時(スイッチが働いている間のみ鳴る)

ブザーが鳴り続ける時は、光電スイッチに遮光物がないか、レンズが曇っていないかを確認し、それでも鳴り止まぬ時は、操作を中止して管理者、又は最寄りの営業所(SMEC)まで御連絡下さい。

1.6) 潤滑及び給油の状況を点検し、正常であることを確認の上、作動させるようにして下さい。

1.7) 冬季積雪の場合

(1) 車の雪を落してから入庫して下さい。

(2) 積雪により「リミットスイッチ」が誤作動し、トラブルが発生する恐れがある為、積雪時は、走行路の雪を除雪してからご使用下さい。

又、走行路にゴミ等の異物がないことも確認してからご使用下さい。

1.8) 入庫時、ドアミラーを折りたたんで入庫して下さい。

6. 保守契約

本立体駐車設備は、専門技術者による「保守および定期点検」が必要な設備です。納入後3ヵ月は、弊社にて無償保守サービスを致しますが、その後は有償保守サービスとなりますので、駐車場保守会社と保守契約を締結下さい。

保守契約のご相談は、新明和エンジニアリング株式会社の最寄りの営業所へご連絡下さい。